

## 2003(平成 15)年度 施策目的評価表

**施策名** 112 男女共同参画社会の実現

**評価者** 生活部 人権・男女共同参画・文化分野 総括室長 安田 正  
059-224-2214 yasudt01@pref.mie.jp

**評価年月日** 2004/6/21

### 施策の目標

【誰、何が（対象）】

県民一人ひとりが

【どのような状態になることを狙っているのか（意図）】

性別にとらわれず、生き方や価値観を尊重し合いながら、社会のあらゆる分野で共に参画している

### 施策に関する各種データ

#### 施策目標項目及びコスト

		2003	2004	2005	2006
男女共同参画意識普及度(%) [目標指標]	目標		62.0		66.0
	実績	60.0			
必要概算コスト(千円)		419,888	394,251	0	0
予算額等(千円)		233,823	248,207		
概算人件費(千円)		186,065	146,044	0	0
所要時間(時間)	所要時間合計(時間)	43,987	34,526	0	0
	所管所属分(時間)	21,874	26,996		
	関係機関分(時間)	22,113	7,530		
人件費単価(千円/時間)		4.23	4.23	4.21	
必要概算コスト対前年度(千円)			-25,637	-394,251	0

#### 数値目標に関する説明・留意事項

性別による固定的な役割分担意識の一つである「男は仕事、女は家庭」という考え方に対し、「同感しない」、「どちらかといえば同感しない」と思う人の割合（県民意識基礎調査）

2004年度の目標値は、県民意識基礎調査による県民の意向をもとに算出した2006年度の目標値66%を目指し、毎年度2ポイントずつ増加させていくこととして設定しました。

## 施策の評価

### 2003年度を振り返っての評価

【これまでの取組と成果、成果を得られた要因と考えられること】

「三重県男女共同参画基本計画」及び「同第一次実施計画」に基づく総合的な取組を進め、施策の実施状況を公表するとともに、三重県男女共同参画審議会が、初めて県の取組全般を外部的な視点で評価し、その中で、課題と今後の施策について50項目にわたる提言を行いました。

県男女共同参画センターによる啓発・情報提供事業や各地域における県民・市町村との協働組織を中心にまちづくりの視点で地域の実情に応じた取組を進めたことなどにより、県民意識基礎調査において、性別による固定的な役割分担意識が改善されました。

また、育児・介護を支援するファミリー・サポート・センターの市町村による設置（2003年度末現在：6箇所）を促進する事業などを進めるとともに、ドメスティック・バイオレンス（DV）については、セミナーや自己尊重・自己主張トレーニングを開催するなど、DVに関する啓発や相談、支援を実施しました。

【残った課題、その要因と考えられること】

県民意識基礎調査において、「男は仕事、女は家庭」という、性別による固定的な役割分担意識を有する人の割合は、4割と未だに高い傾向にあること、また、男女共同参画についての様々な誤解や曲解があることから、各種啓発事業の推進や、地域の実情に応じた住民等との協働による取組などにより、男女共同参画の考え方や推進の必要性、重要性への理解を一層浸透させる必要があります。

女性の社会進出を促進するため、事業者の意識向上など雇用面での取組や、育児・介護等を社会全体で支援できる環境整備を一層進める必要があります。

DVについては、相談体制の充実によって相談件数が増大していますが、県による一層適切かつ充実した対応と、市町村や地域住民が主体的に実施する相談や啓発の取組に対する支援が重要です。

## 施策の展開

### 評価結果を踏まえた2004年度の取組方向

- 県男女共同参画審議会による提言をふまえ、これまでの取組の見直し、充実と新たな取組の構築、推進をはかるとともに、県の全ての施策、事業が男女共同参画の視点で進められるよう、きめ細かな総合調整を行います。
- 男女共同参画に関する様々な誤解や曲解に対し適切に対応できるよう、啓発の充実等をはかります。
- 地域における人材の育成・確保、市町村の円滑な事業展開に向けた支援を行い、地域住民と市町村が効果的に連携して男女共同参画を推進できる環境づくり、条件整備を進めます。
- DV相談や被害者の支援については、県において一時保護や心理療法など専門性を要する分野を中心に取り組むとともに、市町村や関係者などが周知・啓発や早期発見、初期相談等を推進できるよう、地域における取組の支援に努めます。
- 2005年度を初年度とする「県男女共同参画基本計画第二次実施計画」について、計画への反映が必要な調査等を行いながら本年度に策定します。

2004年度 構成する基本事業間の戦略（注力、見直しの方向）				
基本事業名	担当室	注力	総括室長の方針・指示	見直しの方向
A 11201 男女共同参画社会の実現に向けた総合的な取組の推進	生活部男女共同参画室	↑	審議会からの提言の具体化および三重県男女共同参画基本計画第二次実施計画の策定については一層の総合行政で取り組む。	改善する
B 11202 男女共同参画に関する意識の普及と教育の推進	生活部男女共同参画室	↑	男女共同参画についての様々な誤解や曲解が解消され、適切な理解が得られるような啓発や教育を実施する。	改善する
C 11203 家庭・職場・地域における男女共同参画の推進	生活部男女共同参画室	↑	「男女が協力して子育て・介護にあたる」「子育て・介護は社会全体で対応していく」という意識の浸透を図り、男女ともに生活スタイルや働き方の見直しを行える取組を進める。	改善する
D 11204 性別に基づく暴力等への取組と心身の健康支援	健康福祉部子ども家庭室	↑	DV被害者の救済および加害者に対する治療の充実、また、不妊に悩む男女に対する相談・治療の充実を図る。	改善する